



2023年5月8日

各位

会社名 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
代表者名 代表取締役社長 渡邊 壽信
コード番号 7173 東証プライム市場
問合せ先 広報部長 吉田 裕幸
(TEL 03-6447-5799)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 期末配当（普通株式）の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基 準 日	2023年3月31日	2023年3月31日	2022年3月31日
1株当たり配当金	62円50銭	52円50銭	45円00銭
配当金総額	1,902百万円	—	1,370百万円
効力発生日	2023年6月7日	—	2022年6月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(参考①) 年間配当の内訳

基 準 日	1株当たりの配当金		
	第2四半期	期 末	年 間
当 期 実 績	52円50銭	62円50銭	115円00銭
前 期 実 績 (2022年3月期)	30円00銭	45円00銭	75円00銭

2. 増配の理由

(1) 特殊要因を除く本業の利益の増加

2023年3月期決算におきましては、以下を主たる要因として特殊要因を除く本業の利益が前回の業績予想数値を上回りました。

- ① 貸出金残高の増加および利回りの上昇を要因として、貸出金利息が前回公表時点の予想を上回りました。
- ② メイン化・事業性ファイナンス等の増加により、法人の役員取引等利益が前回公表時点の予想を上回りました。

(2) 特殊要因を除く本業利益に対する配当の実施（配当性向 20%）

当社の配当実施に対する基本方針は、以下のとおりであります。

- ・適正な内部留保による財務の健全性の確保に努めるとともに、継続的かつ安定的な配当を実施
- ・中期経営計画（2021 年 4 月～）において掲げる、利益と純資産の水準に見合う株主還元水準の目標は「総還元性向 20～30%」

上記方針のもと、2023 年 3 月期業績における特殊要因 35 億円を除いた本業部分の利益（175 億円）に鑑み、2022 年 5 月 12 日に公表した期末配当予想 52.5 円を 10 円増額し、期末の 1 株当たり配当金を 62.5 円にすることといたしました（当期純利益 175 億円に対する配当性向約 20%）。

（参考②）2023 年 3 月期業績の内訳

	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回予想 (2022 年 5 月 12 日公表) A	百万円 27,800	百万円 19,500
2023 年 3 月期(今回) B (C + D)	30,774	21,150
特殊要因を除く本業利益 C	27,210	17,586
特殊要因 (※) D	3,564	3,564
増減額 (B - A)	2,974	1,650

※特殊要因

- ・持分法適用関連会社であるきらぼしインシュアランスエージェンシーにおいて、その子会社が財務戦略の一環として不動産売却を実施
- ・当該売却益を原資に、きらぼしインシュアランスエージェンシーに対して期末配当を実施したことにより、持分法投資利益 3,564 百万円を計上

以上